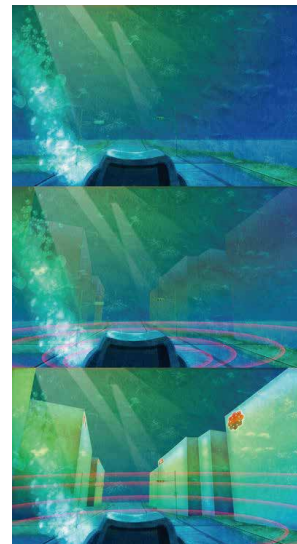


中之島線開業・アートエリア B1 開館 10 周年記念

## 鉄道芸術祭 vol.8 「超・都市計画」(仮)

会期：2018年11月10日(土)～2019年1月27日(日)

### 鉄道芸術祭 vol.8 コンセプト & アーティスト発表について



左から：Oscar Peters 《The Wild》展示風景,2017 / THE COPY TRAVELERS 《サンマルコ・サンセット》2016 / ゲーム菩薩グループ 『水没オシマイ都市』より,2018

#### ■ アートエリア B1 とは…

京阪電車中之島線建設中の2006年から、企業・大学・NPO法人が協同で、都市空間における駅の新たな可能性を模索する「中之島コミュニケーションカフェ」を実施。これを継承して2008年10月の中之島線開業を機に、なにわ橋駅の地下1階コンコースに「アートエリア B1」を開設しました。ここでは様々なプログラムを実施し、「文化・芸術・知の創造と交流の場」となることを目指しています。

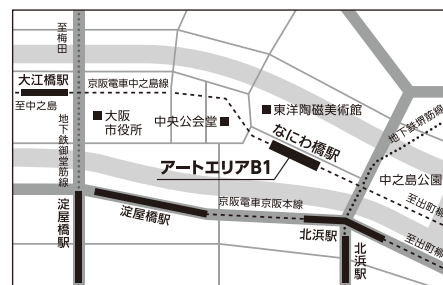
主催：アートエリア B1

【大阪大学 + NPO 法人ダンスボックス + 京阪ホールディングス(株)】

企画制作：大阪大学共創機構社学共創本部 21 世紀懐徳堂/  
NPO 法人ダンスボックス

協力：京阪電気鉄道株式会社 URL：<http://artarea-b1.jp>

#### [会場アクセス]



京阪電車中之島線「なにわ橋駅」B1階コンコース  
(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)

#### ■ 本資料に関する お問い合わせ

アートエリア B1 事務局

E-mail：[press@artarea-b1.jp](mailto:press@artarea-b1.jp)

TEL: 06-6226-4006 FAX: 06-6226-7299 (12:00～19:00)

※月曜(祝日の場合は翌日)休館

〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階

企画背景 「鉄道芸術祭」とは…

“鉄道”には、車両や沿線図、列車が走る線路や駅舎・ホームなど、先進的な技術や魅力とともに、そこにまつわる文化や歴史があります。駅のコンコースにあるアートエリア B1 では、その創造性に着目した事業「鉄道芸術祭」を2010年より毎年開催しています。

本芸術祭では、鉄道という歴史や文脈を踏まえ、駅コンコースに位置する当館の場所性を活かした独創的な企画を実施します。芸術の新たな可能性を示唆すると共に、様々な人々に先駆的な表現世界に触れる機会を提案し、新たな観客創造にも寄与することを狙いとしています。

■過去の鉄道芸術祭



鉄道芸術祭 vol.0 (2010)

キックオフイベントとして、京阪電車開業100周年にちなみ鳥瞰図絵師・吉田初三郎の沿線御案内図等による展覧会を開催。(2011年からの本格始動後は、ゲストアーティストを迎えアートプロジェクトを展開) (撮影：佐伯慎亮)



鉄道芸術祭 vol.1 (2011)

「西野トラベラーズ 一行き先はどこだ？」  
現代美術家の西野達による鉄道と旅とアートをテーマにした企画展。  
(撮影：表恒匡 (SANDWICH GRAPHIC))



鉄道芸術祭 vol.2 (2012)  
やなぎみわプロデュース  
「駅の劇場」

美術作家のやなぎみわをプロデューサーに迎え、当館に駅のプラットフォームを模した劇場を出現させ、舞台芸術祭を展開。(撮影：井上嘉和)



鉄道芸術祭 vol.3 (2013)  
松岡正剛プロデュース「上方遊歩46景」

編集者の松岡正剛による「言葉と近代」をテーマにした、言葉と本と名物による企画展。  
(撮影：井上嘉和)



鉄道芸術祭 vol.4 (2014)  
「音のステーション」

「音・技術」をテーマに、16組のアーティストによる展示と関連イベントによる企画展。  
(撮影：井上嘉和)



鉄道芸術祭 vol.5 (2015)  
ホンマタカシプロデュース  
「もうひとつの電車」

「風景や視覚」をテーマに、写真家のホンマタカシをプロデューサーに迎えた企画展。  
(撮影：井上嘉和)



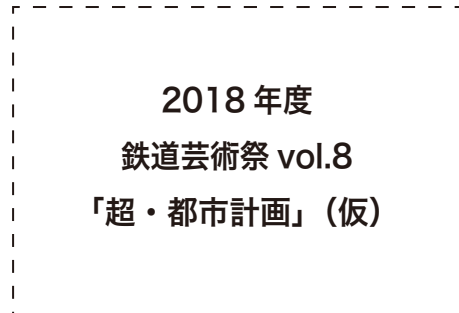
鉄道芸術祭 vol.6 (2016)  
「ストラクチャーの冒険」

「ストラクチャー (都市の構造や基盤)」をテーマに、榎忠 (現代美術家)、五十嵐大介 (漫画家)、インビジブル・デザインズ・ラボ (音楽クリエイティブチーム) による企画展。(撮影：福永一夫)



鉄道芸術祭 vol.7 (2017)  
「STATION TO STATION」

「鉄道と身体・知覚・行動」をテーマに、プロデューサーに立花文穂 (アーティスト / グラフィックデザイナー) を迎えて開催した、32組のゲストアーティストによる企画展。(撮影：松見拓也)



2018年度  
鉄道芸術祭 vol.8  
「超・都市計画」(仮)

鉄道芸術祭 vol.8 (2018)  
「超・都市計画」(仮)

アートエリア B1 開館10周年記念事業として行う「鉄道と都市計画」をテーマとする企画展。初の海外招聘アーティストを含む、3組のアーティストを迎えて開催する。

**企画主旨** “鉄道と都市計画” をテーマとする企画展

産業革命以後、鉄道は近代都市計画の要でありつづけてきました。その沿線開発に伴う都市計画によって、私たちの生活環境は向上しましたが、同時に、都市風景の画一化や生活の均質化をもたらしました。

今回の鉄道芸術祭では、鉄道による中之島線沿線開発という「都市計画」の産物であるアートエリア B1 において、3 組のアーティストによる独自の視点を通して、創造的／想像的都市計画を展開します。

日本で初めての紹介となるオランダ出身の Oscar Peters (オスカー・ピーターズ) は、木組みによるコースター型の大型立体作品を発表し、展示空間にユーモラスな都市の模型を出現させます。加納俊輔、迫鉄平、上田良によるアート・ユニット THE COPY TRAVELERS (ザ・コピー・トラベラーズ) は、都市のふるまいを観察し、複製という手法を用いて壁面や紙面に都市の混沌、多層性を浮かび上がらせます。そしてゲーム作家の飯田和敏は、ゲームという仮想現実の世界においてこそ可能な、都市の姿を描き出します。

さまざまな課題を抱える都市の現実を、創造的な観点から超越的にとらえたアーティストたちの表現を手掛かりに、これまでの都市計画を問い直し、未来の都市のあるべき姿を思考します。

**アーティスト** アーティストの特徴と役割

海外アーティスト × アーティスト・ユニット × ゲーム作家

**オスカー・ピーターズ**

立体的構造  
(3~3.5次元)

都市の模型、都市交通  
エンドレス・ループ、無目的性  
ユーモラスな批評性

**ザ・コピー  
トラベラーズ**

平面的展開&情報操作  
(2~2.5次元)

重層性、多層性、都市の複製  
コピー&ペースト、コラージュ  
都市における人間の振る舞い

**飯田和敏**

ゲーム&仮想現実  
(4次元以上)

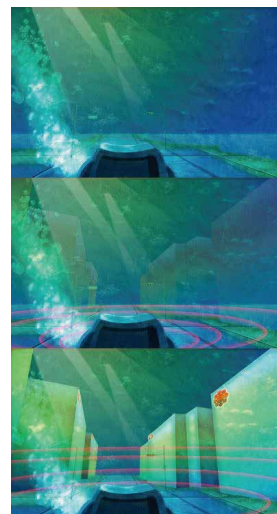
仮想空間におけるまちづくり  
計画のない都市計画  
反文明的世界観



Oscar Peters  
《The Wild》展示風景  
(W139、アムステルダム、オランダ、  
2017)



THE COPY TRAVELERS  
《サンマルコ・サンセット》  
インクジェットプリント、1187×850mm  
2016



ゲーム菩薩グループ  
『水没オシマイ都市』より  
2018

## みどころ

## 本企画のみどころ

## その1・・・

七変化する駅地下コンコース、社会実験 10 年目に「都市計画」をテーマにした企画展を開催。

2008 年、地下の駅コンコースに誕生したコミュニティスペース「アートエリア B1」は、美術館ともギャラリーとも異なる場所性・空間性を活かして、実験性の高いさまざまなプロジェクトを展開してきました。開館から 10 周年を迎える本年、鉄道および当館の成り立ちとも深く関わる「都市計画」に着目し、既存の計画や開発といった概念を創造的に乗り越える「超・都市計画」をテーマに、当館の空間を最大限に活かした展覧会を開催します。

## その2・・・

日本初紹介の海外アーティスト、オスカー・ピーターズによる滞在制作&大型新作発表。

オランダ人アーティストのオスカー・ピーターズが、本館初の試みとなる滞在制作を経て、巨大な木製コースター型の新作を発表します。本展のシンボルとなる本作品に加えて、ザ・コピー・トラベラーズは、都市の風景やふるまいを観察・採取し、約 20m の壁面に展開します。そして、ゲームという仮想現実において、まさに「超現実のまちづくり」を表現してきた飯田和敏のゲーム作品が登場します。こうした 3 組の作品の相互作用によって、アートエリア B1 に独自の都市の鳥瞰図が出現します。

## その3・・・

貸切電車を舞台にした電車公演など、鉄道芸術祭でしか体験できない多彩な関連イベント。

鉄道芸術祭の恒例企画「電車公演」では、京阪電車の貸切車両を舞台にその日限りの特別なパフォーマンスを実施。独自の「乗車体験」によって電車・鉄道の意味を拡張します。また、出品アーティストをはじめ都市計画や鉄道に関する多分野から専門家を招いてのトークツアー企画、パフォーマンスなど、豊富な関連イベントで多角的に本展テーマを読み解きます。

## 開催概要

**タイトル** 中之島線開業・アートエリア B1 開館 10 周年記念  
鉄道芸術祭 vol.8 「超・都市計画」(仮)

**開催期間** 2018 年 11 月 10 日(土)～2019 年 1 月 27 日(日)  
※休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/30-1/7)

**記者内覧会** 2018 年 11 月 9 日(金) 午後の予定 \*別途ご案内差し上げます。

**会場** アートエリア B1(大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下 1 階)

**入場料** 無料(一部有料イベントあり)

**参加アーティスト** Oscar Peters (アーティスト) \*滞在期間: 10 月中旬～11 月 11 日(予定)  
THE COPY TRAVELERS (加納俊輔、迫鉄平、上田良 / アーティスト・ユニット)  
飯田和敏 (ゲーム作家)

主催: アートエリア B1 【大阪大学 +NPO 法人ダンスボックス + 京阪ホールディングス(株)】  
企画制作: 大阪大学共創機構社会学共創本部 21 世紀懐徳堂 / NPO 法人ダンスボックス  
協力: 京阪電気鉄道株式会社  
助成: 芸術文化振興基金、大阪市、花王芸術・科学財団、朝日新聞文化財団(2018.7 時点)

## 参加アーティストプロフィール

## Oscar Peters (オスカー・ピーターズ)

1981年オランダ・ボルゲル生まれ。アムステルダム拠点。

動きをとまなう立体作品や、人が入り込める大掛かりなインスタレーション、写真作品などを制作。馴染みのある道具や日用品がシンプルな仕掛けで予想外の動きを繰り返す。そこに暴力性やユーモア、アイロニーが絶妙なバランスで見え隠れして鑑賞者の意識を捕らえる。ピーターズは笑いや可笑しみの構造を最大限に利用しながら、環境や政治、暴力といった現代社会が抱えるさまざまな課題を、鮮やかに切り取って見せる。主な展覧会に、「The Wild」(W139、アムステルダム、オランダ、2017)、「Maelström」(Arti et Amicitiae、アムステルダム、オランダ、2016)、「The you inside of me」(Miller Gallery、ピッツバーグ、アメリカ、2016)他多数。鉄道芸術祭では、レール機構を用いた大型インスタレーション(下記参考写真)を、大阪での滞在制作により新作として発表する予定。日本では初めての紹介となる。[www.oscarpeters.com](http://www.oscarpeters.com)



3点とも：《The Wild》展示風景、W139、アムステルダム、オランダ、2017

## 飯田和敏 (いいだ・かずとし)

ゲーム作家。立命館大学映像学部教授。1968年東京都生まれ。多摩美術大学卒業。

1995年、勝ち負けや明確な目的を定めない海底散策ゲーム『アクアノートの休日』(PlayStation)でデビュー。以降『太陽のしっぽ』(1996、PlayStation)、『巨人のドシン』(1999、Nintendo64DD)、『ディシプリン\*帝国の誕生』(2009、WiiWare)などをリリース。既存のビデオゲームの価値観や概念にとらわれない斬新な表現と作風で知られる。2011年、日本科学未来館の常設展示『アナグラのうた - 消えた博士と残された装置 -』の制作に参加し、本作品は同年第15回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門優秀賞受賞。現在、ゲーム菩薩グループのメンバーとして、フリーの地図情報「Open Street Map」から生成された都市空間を舞台にしたVRゲーム『水没オシマイ都市』を制作中。



左右とも：ゲーム菩薩グループ『水没オシマイ都市』より、2018

## 参加アーティストプロフィール

## THE COPY TRAVELERS (ザ・コピー・トラベラーズ)

京都および東京を拠点として活動する美術家、加納俊輔、迫鉄平、上田良によるユニット。「複製」や「コラージュ」といった手法の可能性について、コピー機やスキャナ、カメラなどのツールを用いて実験を繰り返している。こうした実験から生まれた 60 枚の印刷物から成るアートブック『THE COPY TRAVELERS by THE COPY TRAVELERS』を 2015 年に BLUE ART 社より出版。主な展覧会に「水に浮かんだフォーシーム」(eN arts、京都、2016)、「ストーブリーグ 2016」(Division/VOU、京都、2016)、「THE COPY TRAVELERS by THE COPY TRAVELERS」(NADiff gallery、東京、2015) など。



左: 《image\_15》アートブック “THE COPY TRAVELERS by THE COPY TRAVELERS” より レーザープリント、210×297mm、2014

右: 《image\_210》“The Hole inn 60 images” より インクジェットプリント、403×570mm、2017

## 加納俊輔 (かのう・しゅんすけ)

1983 年大阪府生まれ。京都府在住。

京都嵯峨芸術大学大学院芸術研究科修了。写真(を撮る／を視る)を主なメディアとして扱い、イメージと物体の関係性についての考察を軸に、「見る」という体験を捉え直す試みとして平面、立体、映像と多岐の表現形態で展開している。主な展覧会に「VOCA 展 2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館、東京、2017)、個展「コンストラクション断面」(Maki Fine Arts、東京、2016)、「これからの写真」(愛知県美術館、愛知、2014)。http://kanoshunsuke.net

## 迫鉄平 (さこ・てっぺい)

1988 年大阪府生まれ。神奈川県在住。

京都精華大学大学院芸術研究科後期博士課程満期退学。瞬間を切り撮るスナップ写真の技法を応用した動画作品や、複数の瞬間を一枚の写真に積み込むスナップ写真のシリーズにおいて、「決定的瞬間」から被写体と鑑賞者を解放することを試みる。主な展覧会に個展「FLIM」(Sprout Curation、東京、2018)、個展「剣とサンダル」(東京都写真美術館、東京、2016)、個展「Sliver」(space\_inframince、大阪、2016)。

## 上田良 (うえだ・やや)

1989 年大阪府生まれ。京都府在住。

京都精華大学大学院芸術研究科前期博士課程修了。自作したオブジェを撮影し、写真作品として提示することで、空間や重力などといった「彫刻的制度」からオブジェを切り離し、物体そのものの色や形に焦点をあてることを試みている。主な展覧会に個展「A Magpie's Nest」(ギャラリー 16、京都、2018)、「VOCA 展 2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館、東京、2017)、個展「Small Scenery」(YEBISU ART LABO、愛知、2016)。

http://www.yayaueda.com

**取材お申し込み**

本展に関する取材をご希望の方は、下記にご希望日時と貴社情報をご記入の上、FAX または E-mail にてお申し込みください。(後日、アートエリア B1 事務局より受付のご連絡をさせていただきます)

- 取材をご希望の方 ※アートエリア B1 運営委員 (本展ディレクター) による対応となります

ご希望の方は、第一、第二希望の日時をご記入ください。 ※ 対応可能時間：12:00～18:00 (月曜 (祝日の場合は翌日) 休館)

■第一希望 月 日 ( ) : ~ :      ■第二希望 月 日 ( ) : ~ :

※取材対応は、関係者の予定を調整の上、決定させていただきます。

- アーティストへの取材をご希望の場合は、お申し込み時にその旨、お書き添えください。

可能な範囲で対応させていただきます。

**貸出用画像**

展覧会広報用として本紙掲載の作品画像をご用意しております。ご希望の際は、画像の□に ✓ をお付けください。

**【Oscar Peters】**



O-01



O-02



O-03



O-04

**【THE COPY TRAVELERS】**



C-01

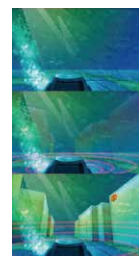


C-03



C-02

**【飯田和敏】**



I-02

I-01



I-03

※画像の使用に際しましては、以下の点をご注意ください。

- ① 画像の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。
- ② 掲載にあたっては、貸出の際にお送りする〈クレジット〉全文を必ず表記してください。
- ③ トリミングや、文字のせなど、写真の改変はご遠慮ください。
- ④ 本展記事をご紹介いただく際には、恐れ入りますが情報確認のため校正の段階で原稿をお送りください。また、ご掲載等いただきましたら、当館の記録として保管いたしますので、掲載誌(紙)、DVD、CD等を1部お送りください。

■ 貴社情報をご記入ください。

① 雑誌名・番組名・ウェブサイト名

② 種別 (○印をつけてください)

雑誌・新聞・ネット媒体・TV・ラジオ・その他

③ 発売・放送・公開予定

月 日 ( )

④ 貴社名

⑤ ご担当者名

⑥ e-mail

⑦ TEL / FAX

⑦ 備考

【送付・お問合先】アートエリア B1 事務局

FAX : 06-6226-7299 / E-mail : [press@artarea-b1.jp](mailto:press@artarea-b1.jp)

TEL: 06-6226-4006 (12:00～19:00)※月曜(祝日の場合は翌日)休館

〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階